

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人 相生市社会福祉事業団

目 次

	ページ
I 総括的事項	1
II 法人・本部事務局の取組み	1
III 各施設の取組み	8
【養護老人ホーム愛老園】	8
【特別養護老人ホーム椿の園】	1 2
【保育所】（相生・平芝・矢野川）	1 5
【障害者支援施設野の草園】	2 0

I 総括的事項

平成29年度からの社会福祉法人制度改革で社会福祉法人を取り巻く環境は大きく変動し、法人に対しては自主的・自立的な経営を確立し、多様な福祉実践を積み重ねていき、地域共生社会の実現に向け、主導的な役割を果たしていくことが期待されている。

こうした中、当事業団では、相生市から養護老人ホーム愛老園、特別養護老人ホーム椿の園及び障害者支援施設野の草園については平成26年度から平成30年度までの5年間、相生保育所、平芝保育所及び矢野川保育所については平成29年度から平成33年度までの5年間の指定管理を受け、市所管課と連絡調整を図りながら適切な管理運営に努めている。

愛老園においては、平成28年度は赤字を計上していたが、特定施設について平成29年度から「外部サービス利用型」を「一般型」へ事業変更を行った結果、黒字への転換となった。

今後も、収入確保を図り、効率的な運営に留意し公的なサービス機関としての役割を果たしていきたい。

II 法人・本部事務局の取組み

平成29年6月26日開催の評議員会において、改正社会福祉法に基づく社会福祉充実計画の承認をいただくとともに、新理事6名及び監事2名を選任していただき、理事会において理事長等の選定を行った。

社会福祉充実計画においては、平成29年6月29日に所轄庁である相生市に承認申請を行い、平成29年8月22日に承認を受け、職員の処遇改善のため、一時金として処遇改善加算を行った。

また、改正労働契約法に基づき、期間の定めのある労働契約を通算で5年を超えて繰り返し更新された場合、労働者が申し込みをすることにより、無期労働契約に転換するための嘱託職員・パート職員の就業規則の整備を行った。

近年、人材確保が難しい状況であり、特に介護員・保育士についてはハローワーク、求人誌、求人サイト、人材紹介会社などあらゆる手段を活用した常時募集を行っているが、各施設の円滑な運営のため引き続き人材確保に努めていきたい。

1. 役 員

(1) 理 事

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	職 名 等
理 事 長	丸 山 英 男	
副 理 事 長	西 崎 健 一	相生市健康福祉部長兼福祉事務所所長
業務執行理事	竹 内 繁 礼	相生市社会福祉事業団事務局長
理 事	魚 橋 武 司	元一般社団法人相生市医師会会長
	瀬 川 英 臣	社会福祉法人相生市社会福祉協議会会長
	賀 川 篤 代	相生市立平芝保育所代表所長

(2) 監 事

監 事	花 田 齊	相生市民生児童委員協議会会長
	山 本 道 雄	元相生市立養護老人ホーム愛老園園長

2. 評議員

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

氏 名	職 名 等
渡 邊 慎 治	社会福祉法人後樂園認定こども園どんぐりの家園長
大 前 正 博	相生市矢野町連合自治会会長
山 本 和 則	元相生市若狭野町連合自治会会長
開 道 眞利子	相生市立障害者支援施設野の草園保護者
中 濱 至 子	元相生市民生児童委員
内 海 民 子	相生市民生児童委員
友 上 啓 子	相生市健康福祉部子育て元気課長

3. 会議等

(1) 理事会

開催回等	開催期日・出欠人員	番号	付 議 事 項	結果
平成 29 年 第 2 回	平成 29 年 6 月 5 日 出席 7 名 欠席 1 名	議案 第 13 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 28 年度事業報告及び決算に ついて	可決
		議案 第 14 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団経理規則の一部を改正する規則 の制定について	可決
		議案 第 15 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団社会福祉充実計画について	可決
		議案 第 16 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 17 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団監事の選任について	可決
		議案 第 18 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 29 年第 2 回評議員会の招集 について	可決
		報告 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事長及び業務執行理事の職務 執行状況について	了承
		議案 第 19 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団評議員選任候補者の推薦につい て	可決
第 3 回	平成 29 年 6 月 26 日 出席 7 名 欠席 1 名	議案 第 20 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事長の選定について	選定
		議案 第 21 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団副理事長の選定について	選定
		議案 第 22 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団業務執行理事の選定について	選定
		議案 第 23 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団評議員選任・解任委員会委員の 承認について	可決
第 4 回	平成 29 年 11 月 29 日 出席 8 名 欠席 0 名	議案 第 24 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 29 年度社会福祉事業資金収 支補正予算（第 1 号）について	可決

		議案 第 25 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団職員の育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
		報告 第 2 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事長及び業務執行理事の職務 執行状況について	了承
平成 30 年 第 1 回	平成 30 年 3 月 27 日 出席 8 名 欠席 0 名	議案 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 29 年度社会福祉事業資金収 支補正予算（第 2 号）について	可決
		議案 第 2 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団職員就業規則の一部を改正する 規則の制定について	可決
		議案 第 3 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団嘱託職員就業規則の一部を改正 する規則の制定について	可決
		議案 第 4 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団パートタイム職員就業規則の一 部を改正する規則の制定について	可決
		議案 第 5 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団職員給与規則の一部を改正する 規則の制定について	可決
		議案 第 6 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団相生市立障害者支援施設野の草 園管理運営規則の一部を改正する 規則の制定について	可決
		議案 第 7 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団保育所管理運営規則の一部を改 正する規則の制定について	可決
		議案 第 8 号	前期末支払資金残高の本部運営経 費への使用について	可決
		議案 第 9 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 30 年度事業計画について	可決
		議案 第 10 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 30 年度社会福祉事業資金収	可決

			支予算について	
		議案 第 11 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団職員の選任及び解任について	可決

※出欠人員には、監事を含む。

(2) 評議員会

開催回等	開催期日・出欠人員	番号	付 議 事 項	結果
平成 29 年 第 2 回	平成 29 年 6 月 26 日 出席 8 名 欠席 1 名	報告 第 1 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 28 年度事業報告について	了承
		議案 第 12 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団平成 28 年度決算（計算書類及び 財産目録）について	可決
		議案 第 13 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団社会福祉充実計画について	可決
		議案 第 14 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 15 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 16 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 17 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 18 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 19 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団理事の選任について	可決
		議案 第 20 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団監事の選任について	可決
		議案 第 21 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団監事の選任について	可決

※出欠人員には、監事を含む。

(3) 評議員選任・解任委員会

開催回等	開催期日・出欠人員	番号	付 議 事 項	結果
平成 29 年 第 2 回	平成 29 年 6 月 13 日 出席 2 名 欠席 1 名	議案 第 9 号	社会福祉法人相生市社会福祉事業 団評議員の選任について	可決

(4) 監事の監査

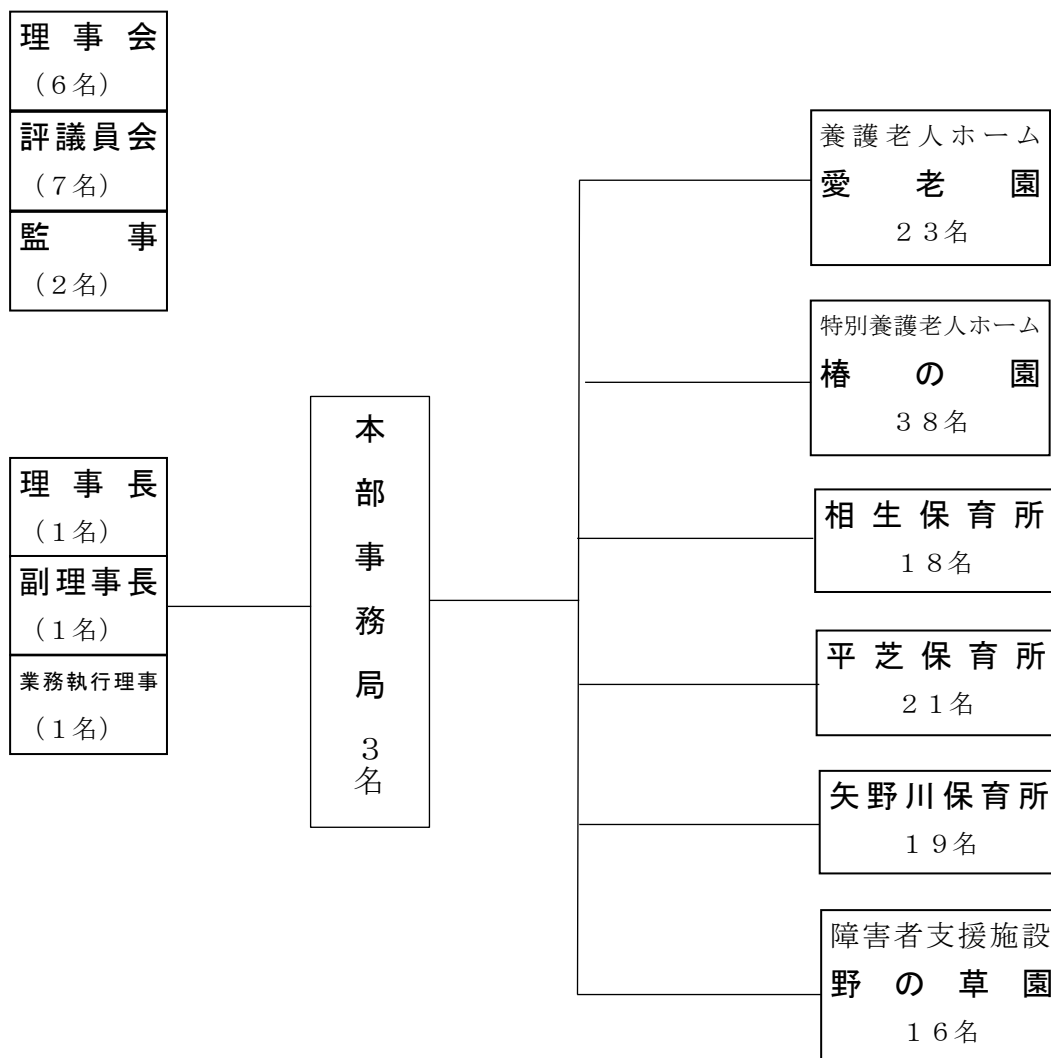
監査区分	実施年月日	監査内容
事業決算監査	平成 29 年 5 月 18 日 平成 29 年 5 月 24 日	平成 28 年度の業務執行状況及び収支決算状況
中 間 監 査	平成 29 年 11 月 6 日	平成 29 年度上半期の業務及び予算執行状況

4. 施設事業等の名称及び所在地

施設事業等	施設事業所名	所在地及び電話番号
主たる事務所	本部事務局	相生市矢野町真広 397 番地 1 電話 0791-29-1208
養護老人ホーム	養護老人ホーム 愛老園	相生市矢野町真広 409 番地 電話 0791-29-0290
在宅老人短期入所事業		
特定施設入居者生活介護事業		
指定介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 椿の園	相生市矢野町真広 397 番地 1 電話 0791-29-1005
指定短期入所生活介護事業		
保 育 所	相生保育所	相生市相生三丁目 11 番 5 号 電話 0791-22-7135
	平芝保育所	相生市那波野一丁目 6 番 13 号 電話 0791-22-7137
	矢野川保育所	相生市矢野町下田 508 番地 1 電話 0791-29-0833
生活介護事業	障害者支援施設 野の草園	相生市那波野一丁目 6 番 15 号 電話 0791-23-6450
就労継続支援 B 型事業		

社会福祉法人相生市社会福祉事業団組織図

平成 30 年 3 月 31 日現在



(職員数)	正 規 職 員	4 2 名
	嘱 託 職 員	4 7 名
	パート職員	4 9 名
	合 計	1 3 8 名

Ⅲ 各施設の取組み

【養護老人ホーム愛老園】

位 置 相生市矢野町真広409番地

事業の種別 第一種社会福祉事業 養護老人ホームの経営
第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営
第二種社会福祉事業 老人居宅介護等事業の経営

事業報告

『養護老人ホーム（措置入所）・・・定員50人』

1. 概要

施設の運営は、老人福祉法の基本的理念に基づき、清流矢野川沿いの閑静な農村部の良好な環境のもとで、入所者の個性や自主性を尊重し、入所者個々のニーズを的確に把握し、その人らしい生活が送れるよう社会復帰及び自立促進のための必要な指導・訓練並びに簡易ベッドの導入を図るなどその他の援助を行い、要支援及び要介護者には、介護サービスを利用しながら支援・介護に努めた。また、特定施設については、利用者並びに施設がかかえている課題を解消するため、平成29年4月1日から従来の「外部サービス利用型」から「一般型」へ事業変更を行い、円滑な介護サービスの提供や経営改善に努めた。

設備面については、入所者の安全な日常生活のため、玄関ホールと集会室の床を絨毯からフローリングに張り替え、また、2階の居室2部屋をバリアフリーのフローリングに改修した。

入所者の看護と食生活については、日常生活における健康管理・健康保持に留意するとともに、週1回の嘱託医の回診と年2回の定期健康診断による疾病の早期発見、早期治療及び感染予防、機能回復訓練による機能低下の防止と現存機能の維持・回復に努めた。一方、食生活については、入所者の食習慣や嗜好が食事に反映されるよう個別メニューや季節感が味わえる工夫と家庭的な食事の提供に努めた。併せて、毎月「園内喫茶」を実施し、午後の団欒のひとときを過ごしていただいた。

行事やレクリエーションについては、ボランティアの受け入れと入所者中心の行事を開催し、地域、家族及び職員が、共感できるひとときを過ごし交流を深め、一方、クラブ活動として、レクリエーション活動や文化的活動を実施し、また、日帰り旅行や毎月のショッピング外出、月1回の映画上映会の実施など生活意欲増進に努めた。

職員の資質向上については、必要な知識や技術の習得のため各種研究・講習会への積極的参加を促すとともに、職場内研修等資質向上に努めた。

防災対策については、非常災害を想定して、避難誘導、通報、消火訓練を実施し、入所者の安全確保に努めた。

また、防犯対策として、不審者の侵入に対応する防犯訓練を、相生警察の協力のもと実施した。

2. 入所状況（定員 50人）

延入所者数 17,377人（平成28年度 17,555人）

1日平均 47.6人（平成28年度 48.1人）

（1）入退所・入院の状況（平成29年4月～平成30年3月）（単位：人）

月	初日 在籍数	入所数	退所数	退所内訳				末日 在籍数	延人数	入院日数 (日)
				死亡	復帰	入院	措置替			
4	46		1			1		45	1,369	59
5	45							45	1,395	92
6	48	3						48	1,440	146
7	49	2	1	1				49	1,537	191
8	49		2	2				47	1,506	113
9	47	2	2	1			1	47	1,401	45
10	47							47	1,457	50
11	47	1						48	1,412	114
12	48	1						49	1,514	99
1	49	2	2	2				49	1,507	66
2	49							49	1,372	51
3	49		2	1		1		47	1,467	60
計		11	10	7		2	1		17,377	1,086

※1日付入所者は初日在籍数に含む。

(2) 措置機関別の状況（年度末現在）

措置機関別 入所者数	相生市	たつの市	赤穂市
平成 29 年 3 月 31 日現在 入 所 者 数	39 人	3 人	1 人
平成 30 年 3 月 31 日現在 入 所 者 数	40 人	3 人	1 人

佐用町	神戸市 中央区	岡山市	計
1 人	1 人	1 人	46 人
1 人	1 人	1 人	47 人

(3) 入所者の年齢区分別状況（年度末現在）

年齢区分 入所者数	60 歳～	70 歳～	80 歳～	90 歳～	100 歳～	計	最高	最低
平成 29 年 3 月 31 日現在 入 所 者 数	4 人	17 人	12 人	12 人	1 人	46 人	104 歳	67 歳
平成 30 年 3 月 31 日現在 入 所 者 数	5 人	17 人	15 人	9 人	1 人	47 人	105 歳	64 歳

(4) 介護保険介護認定状況（年度末現在）

認定入所者数 27 人（平成 28 年度 27 人）

介護度 年度別	要支援	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	小計	自立	総計
平成 29 年 3 月 31 日現在	3 人	10 人	4 人	3 人	5 人	2 人	27 人	19 人	46 人
人数・構成比率	11.1%	37.0%	14.8%	11.1%	18.5%	7.5%	100%		
平成 30 年 3 月 31 日現在	3 人	11 人	6 人	2 人	3 人	2 人	27 人	20 人	47 人
人数・構成比率	11.1%	40.8%	22.2%	7.4%	11.1%	7.4%	100%		

『老人短期入所事業（ショートステイ）・・・空床利用』

1. 概 要

65歳以上で介護する家族等が病気等の理由により、自宅で介護を受けることが一時的に困難な方を短期間養護し、生活習慣等の指導を行うと共に体調の調整を図ることを目的として支援を行った。

2. 利用状況

延利用者数 7人（平成28年度 22人）

1日平均 0.02人（平成28年度 0.06人）

月別利用者延人数 (単位：人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
28年度	1	7	3	0	0	0	0	0	0	11	0	0	22
29年度	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7

『特定施設入居者生活介護事業』

1. 概 要

入所者で身体上または精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、入浴、排せつ、食事等の介護、洗濯、掃除等の個別のニーズに基づいた介護サービスを提供した。

2. 利用状況

月別利用者延人数 (単位：人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
28年度	29	29	29	29	30	30	30	29	29	29	27	27	347
29年度	27	24	27	28	26	27	27	27	27	29	28	26	323

※平成29年度より「外部サービス利用型」から「一般型」へ事業変更

【特別養護老人ホーム椿の園】

位 置 相生市矢野町真広 3 9 7 番地 1

事業の種別	第一種社会福祉事業	特別養護老人ホームの経営
	第二種社会福祉事業	老人短期入所事業の経営

事業報告

『特別養護老人ホーム（長期入所）・・・定員 50 人』

1. 概 要

当施設では、老人福祉法及び介護保険法の理念に基づき、四季折々の自然豊かな環境のもと、利用者が尊厳を持ち、安らぎと生きる喜びを実感しながら、その人らしい生活が送れるよう利用者個々のニーズを取り入れたサービス計画に沿い、介護・看護・栄養調理の各部門が協働して質の高いサービスの提供と自立支援に努めた。

利用者の高齢化・重度化が進む中、日々きめ細かな体調管理を行い、医療との密接な連携、定期健康診断や嘱託医による回診などにより利用者の健康管理や感染症防止に努めるとともに、機能回復訓練により有存機能の維持・向上を図った。さらに食事・栄養面では、栄養ケア計画に基づき利用者の心身の状況に合わせ、嗜好や季節感を取り入れた安全でおいしい食事の提供に努めた。

また、行事・レクリエーションについては、家族・ボランティア・地域の人々と積極的に交流を図り、ふれあいを通して楽しめる機会を提供し、利用者の意向に応じた外出の支援により余暇の充実を図った。また、園内喫茶とおやつは利用者のくつろぎのひとつとなっている。

職員の資質向上については、職場内研修及び職場外研修への積極的な参加と委員会活動を通して専門性の向上に努めるとともに、施設のビジョンの唱和により目標の共有と意識化に努めた。

安全管理対策については、防災計画の見直しや災害対策マニュアル・土砂災害避難確保計画の策定を行い、周知を図るとともに火災及び地震を想定した防災訓練や、愛老園と合同での不審者侵入に備えた防犯訓練、AEDを使用した救命救急講習を行い、防災や安全確保への意識の向上に努めた。

2. 利用状況（定員 50人）

延利用者数 17,898人（平成28年度 18,089人）

1日平均 48.9人（平成28年度 49.6人）

（1）入退所・入院の状況（平成29年4月～平成30年3月）（単位：人）

月	初日 在籍数	入所数	退所数	退所内訳				末日 在籍数	延人数	入院日数 (日)
				死亡	復帰	入院	施設替			
4	50		2	1		1		49	1,493	129
5	48	1	3	3				46	1,480	121
6	46	4						50	1,437	137
7	50	1	2	1		1		49	1,527	159
8	49	1						50	1,523	118
9	50	1	1	1				50	1,499	119
10	50	1	1	1				50	1,535	71
11	50		3	3				47	1,482	145
12	47	4	1			1		50	1,494	62
1	50		1	1				49	1,543	118
2	49	2	1	1				50	1,373	141
3	50	2	2	2				50	1,512	115
計		17	17	14		3			17,898	1,435

※末日付退所者は末日在籍数に含む。

（2）地域別利用状況（年度末現在）

地 域	相生市	赤穂市	たつの市	上郡町	計
利用者数					
平成29年3月31日現在 利 用 者 数	39人	2人	3人	6人	50人
平成30年3月31日現在 利 用 者 数	36人	2人	2人	10人	50人

（3）利用者年齢区分別状況（年度末現在）

年齢区分	65歳～	80歳～	90歳～	100歳～	計	最高	最低
利用者数							
平成29年3月31日現在 利 用 者 数	11人	17人	20人	2人	50人	102歳	66歳
平成30年3月31日現在 利 用 者 数	8人	19人	21人	2人	50人	103歳	67歳

(4) 介護保険介護認定状況（年度末現在）

介護度 年度別	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計	平 均 介護度
平成 29 年 3 月 31 日現在 人 数 ・ 構 成 比 率	0 人	4 人	1 7 人	1 9 人	1 0 人	5 0 人	3.70
	0.0%	8.0%	34.0%	38.0%	20.0%	100.0%	
平成 30 年 3 月 31 日現在 人 数 ・ 構 成 比 率	1 人	2 人	1 4 人	2 0 人	1 3 人	5 0 人	3.84
	2.0%	4.0%	28.0%	40.0%	26.0%	100.0%	

『老人短期入所事業（ショートステイ）・・・定員 8 人』

1. 概 要

寝たきりや認知症など、介護を必要とする高齢者を抱える家族が、一時的に家庭での介護が困難な場合に、短期入所サービスを利用されるもので日常生活上の援助などを個別のニーズに基づいた介護サービス計画により提供した。

2. 利用状況

延利用者数 2, 0 7 0 人(平成 2 8 年度 2, 4 0 9 人)

1 日平均 5. 7 人(平成 2 8 年度 6. 6 人)

月別利用者延人数

(単位：人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
2 8 年度	135	219	183	213	228	202	241	196	212	217	164	199	2, 409
2 9 年度	216	180	168	212	163	137	162	172	170	170	137	183	2, 070

【保育所】

位 置	相生市立相生保育所	相生市相生三丁目 1 1 番 5 号
	相生市立平芝保育所	相生市那波野一丁目 6 番 1 3 号
	相生市立矢野川保育所	相生市矢野町下田 5 0 8 番地 1

事業の種別 第二種社会福祉事業 保育所の経営

事業報告

1. 概 要

(1) 相生保育所

一人ひとりを大切にする保育を目指し、家庭や地域の関係機関の協力を得て、地域の自然や施設等の資源を積極的に活用し、豊かな生活体験をはじめ、保育内容の充実を図った。

防災対策としては、平成 2 6 年度より相生保育所が南海トラフ地震の浸水想定区域に指定されたことから、毎月の避難訓練に加え南海トラフによる津波を想定した訓練を年 1 回取り入れ、平成 2 9 年度は津波一時待避所を子どもと一緒にハザードマップを見ながら実際歩いて確認し、いざという時スムーズに対応出来るようにしていった。

平成 2 9 年度は『あいおい ふるさとかるた』を、公立 3 保育所でリニューアルし、子どもたちと保育所周りを散策し歴史や文化に触れた。

保育所は、地域に開かれた場所として、様々な人々や関係機関との交流を今年度も行った。わらべうた・伝承あそびなどを交流行事や参観日等で紹介し、触れ合う事で家庭や地域関係機関との繋がりを深められるようにしていった。

安心できる人間関係の中、豊かな愛情と家庭のようなあたたかさで一人ひとりの成長を見守り、生きる力をはぐくむ保育を目指した。

(2) 平芝保育所

子どもたちのより良い未来のために、保育所が安心できる場所となるよう、保護者から信頼され地域の人々から愛される保育所を目指すという理念のもと、職員一人ひとりが常に向上心を持ち、適切な判断、対応を心がけ、職員間の連携を図り、安定した保育の継続と質の向上に努めた。

乳幼児期は「生きていくための力」の基礎を作る大切な時期です。年齢に合った発達が心も体も順調に促進される保育を心がけ、「やってみる」という気持ちを持てる子、「楽しかった」と思える活動、そして、「またやりたい」と思える気持ちを育むことを目標にした。

平成29年度は、厚生労働省が食育を通じて期待する子どもの育ちとして掲げている「5つの子ども像」の内『2、食べたいもの、好きなものが増える子ども』、『4、食事づくり、準備にかかわる子ども』に重点を置き取り組んだ。毎日の食事を通して「食の大切さ」を知らせ、園庭での栽培などで食材に触れたり、クッキングで調理に関わったりすることで「食べる意欲」や「感謝の気持ち」を育てていく保育を目指した。

また、約30年前に作成した『あいおい ふるさとかるた』の再編集を公立3保育所で行い、古き良き相生に新しい相生の魅力が加わり、子どもたちが相生を身近に感じられるカルタを作成した。このカルタを保育の中に取り入れ、より相生の町に興味を持てる保育を行った。

(3) 矢野川保育所

保育理念・保育方針に基づき、充実した環境の中で豊かな心を養い、情緒の安定や体力の増進、月齢に応じた規則正しい生活を身につけることができるよう努めた。また、地域に根付く保育所となるよう地域の方々・福祉施設・小学校との交流を持ち、様々な人とのふれあいを充実させた。

その中で、矢中校区連携推進委員会の取り組みとして、「ともに輝け 矢野川の子」のスローガンのもと、幼少期の親子が人間関係を構築する力の育成や豊かな心と学力を育む読書活動の推進を家庭と保育所が共に充実させる保育を目指した。平成29年度は、今までの取り組みに加え、保護者や地域の方々と共に子どもたちの健やかな成長が目指せるよう、スローガン横断幕を園庭フェンスに設置した。

また、復刻版『あいおい ふるさとかるた』を活用し、相生の町や地域に興味・関心を持つ、保育に心がけた。さらに、食育活動の一環として、子どもたちが地場食材に触れることのできるクッキングにも取り組み、様々な視点から、地域を意識した保育を目指した。

2. 利用状況

(1) 月別入所状況

(単位：人)

月	相生保育所 (定員70人)		平芝保育所 (定員70人)		矢野川保育所 (定員55人)		合 計 (定員195人)	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
4	61	68	72	72	58	48	191	188
5	63	69	73	72	58	48	194	189
6	63	71	75	72	58	48	196	191
7	63	71	75	72	58	48	196	191
8	64	71	77	72	59	49	200	192
9	64	71	77	71	58	50	199	192
10	67	71	77	74	57	50	201	195
11	66	71	77	75	57	50	200	196
12	66	71	77	75	57	51	200	197
1	67	71	78	76	57	51	202	198
2	67	70	78	76	57	51	202	197
3	67	70	78	77	56	51	201	198
合計	778	845	914	884	690	595	2,382	2,324
平均	64.8	70.4	76.2	73.7	57.5	49.6	198.5	193.7

(2) 年齢別入所状況

(平成30年3月31日現在)

区 分	在籍数	内 訳			
		0才児	1・2才児	3才児	4才以上児
相生保育所	70人	3人	21人	16人	30人
平芝保育所	77人	6人	25人	10人	36人
矢野川保育所	51人	4人	18人	10人	19人
計	198人	13人	64人	36人	85人

(3) 特別保育事業

①延長保育事業

(単位:人)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相 生	28年度	21	19	27	22	16	17	17	29	25	32	31	36	292	24. 3
	29年度	36	28	35	38	30	37	45	41	38	36	38	45	447	37. 3
平 芝	28年度	57	62	72	57	52	83	91	98	74	89	109	102	946	78. 8
	29年度	110	91	108	84	79	101	108	109	95	76	101	121	1,183	98. 6
矢野川	28年度	59	30	77	62	53	48	61	34	63	47	59	60	653	54. 4
	29年度	55	80	97	38	35	76	59	57	56	54	62	53	722	60. 2
合 計	28年度	137	111	176	141	121	148	169	161	162	168	199	198	1,891	157. 6
	29年度	201	199	240	160	144	214	212	207	189	166	201	219	2,352	196. 0

②一時預かり事業

(単位:人)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相 生	28年度	11	22	25	15	11	12	11	12	6	11	15	11	162	13. 5
	29年度	8	10	6	8	10	14	22	17	13	10	11	13	142	11. 8
平 芝	28年度	22	38	24	19	17	33	41	34	40	39	45	37	389	32. 4
	29年度	22	24	21	27	35	26	13	12	9	8	10	12	219	18. 3
矢野川	28年度	0	3	2	0	0	0	2	1	1	1	1	2	13	1. 0
	29年度	0	1	1	1	3	2	2	2	3	2	2	0	19	1. 6
合 計	28年度	33	63	51	34	28	45	54	47	47	51	61	50	564	47. 0
	29年度	30	35	28	36	48	42	37	31	25	20	23	25	380	31. 7

③障害児保育事業

(単位:人)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相 生	28年度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2. 0
	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
平 芝	28年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1. 0
	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
矢野川	28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
合 計	28年度	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3. 0
	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0

④休日保育事業

(単位：人)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
相 生	28年度	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0. 4
	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
合 計	28年度	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0. 4
	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0

【障害者支援施設野の草園】

位 置 相生市那波野一丁目 6 番 1 5 号

事業の種別 第二種社会福祉事業 障害福祉サービス事業の経営

事業報告

1. 概 要

当施設は、平成 4 年に開設し 26 年目を迎えたが開設当初より在籍されている利用者も 9 名おられ特に生活介護事業利用者の平均年齢は 40 歳となり今後高齢化が進んでいく中、身体機能低下への支援や健康管理の把握が重要課題と思われる。

生活介護事業利用者においては平均障害支援区分も 4.9 となり移動、排泄、食事介助等様々な場面で利用者の状態に応じた安全な支援を行うと共に生活に潤いを持っていただけるよう創作活動、外出、ボランティア活動等様々な活動を提供した。

就労継続支援 B 型事業利用者においては生産活動が主となるため利用者の年齢、身体機能、特性等を配慮しながら無理のない生産活動を提供し継続していけるよう支援を行った。また、椿の園での職場実習（施設外支援）を行った女性利用者 1 名が平成 30 年 4 月 1 日付で雇用されることとなった。

合わせて保護者も高齢化しており将来への不安や悩み等様々な相談に対して相談支援事業所等と連携を図り入所施設の見学等社会福祉サービスの情報を提供し不安等の解消に努めた。

運営面においては、生活介護事業、就労継続支援 B 型事業共に定員を満たしておらず厳しい状況が続いているが経費の見直し等限られた収入の中で最大限の効果を図り安定した運営に努めた。

2. 利用者の状況

(1) 生活介護事業（定員 19 人）

（平成 30 年 3 月 31 日現在）

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合 計
男 性				4 人	4 人	3 人	11 人
女 性			1 人	1 人	3 人	2 人	7 人
合 計			1 人	5 人	7 人	5 人	18 人

(2) 就労継続支援 B 型事業 (定員 17 人) (平成 30 年 3 月 31 日現在)

男 性	6 人
女 性	9 人
合 計	15 人

(3) 年齢別利用状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

年齢 性別	20 歳 未満	20～ 39 歳	40～ 59 歳	60～ 64 歳	65 歳 以上	計	平均年齢
男 性		10 人	7 人			17 人	39 歳 0 ヶ月
女 性	1 人	8 人	7 人			16 人	37 歳 4 ヶ月
合 計	1 人	18 人	14 人			33 人	38 歳 2 ヶ月

(4) 利用期間状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

期間 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上	計	平均利用期間
男 性	1 人		1 人	4 人	11 人	17 人	16 年 6 ヶ月
女 性		2 人	1 人	3 人	10 人	16 人	14 年 7 ヶ月
合 計	1 人	2 人	2 人	7 人	21 人	33 人	15 年 7 ヶ月

(5) 障害別状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

区 分 性 別	知的障害			身体障害				精神障害
	療 A (重度)	療 B 1 (中度)	療 B 2 (軽度)	1 種 1 級	1 種 2 級	2 種 3 級	2 種 5 級	2 級
男 性	11 人	4 人	2 人	1 人	2 人		2 人	
女 性	7 人	8 人	1 人	1 人		1 人		1 人
合 計	18 人	12 人	3 人	2 人	2 人	1 人	2 人	1 人

※複数の障害がある場合には、障害種別ごとに重複して掲載しています。